

合併10周年 市長あいさつ

大館市・比内町・田代町の1市2町は、有史以来の地理的・歴史的なつながりに加えて、経済、文化、生活などの面で強い結びつきを有していたところです。

少子高齢化や人口減少社会を迎える中で、大館市・比内町・田代町の住民一人ひとりがそれぞれの地域の将来に真剣に思いを巡らせ、1市2町で数多くの合併協議を重ねた結果、平成17年6月20日に新大館市としての第一歩を踏み出しました。

市ではこの10年間、「財政基盤を確立させながら市民の間に一体感を醸成し、いかにしてこの地域社会を維持していくか」を市政の大命題とし、

市民一丸となつてさまざまな事業に取り組んできました。

「市立総合病院増改築事業」を始め、「市道有浦東台線の開通」、「御成町南地区土地地区画整理事業」、「日本海沿岸東北自動車道大館北IC〜小坂JCT間の開通」など、関係各位のご支援・ご尽力により、目指してきた広域的な社会、経済基盤の整備が進み、結果として企業進出が促進され、地域における雇用の確保、財政基盤の確立など、一定の成果を収めることができました。

私たちは現在、かつて先人が経験したものは大きく異なつた、困難な時代に直面しています。この試練を乗り越えて、更にこの地域が発展していくためには、市民の皆さんのたゆまざる努力によって何代にもわたり大切に守り育まれてきたこの地域の宝、す

なわち、「尊い歴史と文化」、そして「伝統と技術」、これらを活かして市民一人ひとりが誇りと自信を持つて交流人口を増やし、次の世代につないでいく必要があります。

また、地域が発展していくためには、市民の皆さんと行政とがビジョンを共有するだけでなく、県も含めて近隣市町村と「連携と役割分担」をしながら、他県に誇れるものを更に強化し、より強力で売出すとともに、さまざまな課題の解決を一緒になつて図っていくことが重要と考えます。

市では、初代大館城代・小場氏、佐竹西家の縁で交流のあつた茨城県常陸大宮市と、この秋に友好都市協定を締結するため、現在、協議を進めています。

この、400年を超える歴史が繋ぐ縁を大切にし、更に交流を深めることによつて、市民の皆さんがふるさとの歴史に対する認識を新たに、地域の未来とともに創つていく大きな力となるものと確信しています。

皆さんには、今後とも、大館市の発展に向けてご指導、お力添えくださいますようお願いいたします。



▲第一中学校合唱部



▲有浦小学校マーチングバンド部



▲大館ばやし保存会



▲大館北IC〜小坂JCT間が開通
(平成25年11月30日)



▲市制施行60周年記念行事を開催
(平成23年7月23日)



▲市立総合病院の改築工事が完了
(平成21年3月)



▲北陽中学校が開校
(平成27年4月1日)



▲本場大館きりたんぼまつりを初めて樹海ドームで開催
(平成24年10月13・14日)



▲大館鳳鳴高校野球部 甲子園初出場
(平成23年3月23・24日)